

新型コロナウイルスに思う 院長のつぶやき

新型コロナウイルス感染症の怖さは、高齢者や基礎疾患を持つ者の生命を奪う可能性がある事。そして、感染の初期には無症状であり、本人さえ気づかないまま他人に染している、または染されている可能性がある事である。特効薬やワクチンが無い事も恐怖をあおる。最近の研究では、症状が出る2日前からより多くの人に感染し始め、抗体が出来る10日目までには感染性が無くなることがわかってきた。しかし感染しても抗体が出来ず無症状のまま経過し、人に染しまくるスーパースプレッダーという感染者が存在する。クラスターやエピセンターの中心に位置するのはこのスプレッダーであると私はにらんでいる。スプレッダーは恐らく無症状で、抗体を保有していなく、なんらかの免疫寛容が起きている感染者であると推測する。

現在、東京の新宿をはじめ横浜、名古屋、大阪、広島、博多、沖縄などを中心にエピセンターという、クラスターの集積地帯が出現している。ここを震源地として日本中に感染が広がっている状態である。無症状の感染者が若者を中心に多発していて、症状があっても4月5月の感染と比べて重症の方は少ない。異論はあるとは思っているのだが、コロナウイルスが変異を起こして日本人に感染しやすくなったものと考えられる。いわゆる新型コロナウイルスの日本株が出来上がったと私はみている。日本では明らかに他国に比べて死亡率が少ない。10万人あたりの死者数はアメリカの50分の1、イタリアの58分の1、スペインの60分の1にとどまる。死者の数は絶対数でも圧倒的に少ない。

日本人を含め東アジアに住む人々はこれまでに繰り返し中国南部を震源とする新型コロナと非常に似通ったウイルスに起因する「風邪ウイルス」を経験してきた。そのおかげでわれわれの血液中には新型コロナに似通ったウイルスに対する免疫を持つ免疫細胞ができていく可能性が高い。過去に何度も何度も繰り返し、「風邪ウイルス」に暴露された結果、特有の免疫システムが出来上がったのである。それは新型コロナウイルスそのものに対する獲得免疫ではないため、免疫効果は完全無欠とまではいかないが、ある程度までのウイルス量への暴露であれば発症を防げるし、運悪く感染してしまっても重症化に至らずに済んでいる可能性が高い。

世界は新型コロナウイルスのワクチンを作る事に躍起になっている。しかし風邪ウイルスだけでなく、MARS、SARSですらまだワクチンは作られていない。ワクチンが作られても、デング熱のワクチンの様にワクチンを打つことによって、感染の重症化を引き起こしてしまうこともある。ワクチン完成までにはまだまだ長い道のりがあることを覚悟しなくてはならない。

裏面へ→

今、我々が何をしなくてはいけないか。まずは、一般の風邪にかからない事である。インフルエンザでも肺炎球菌でもワクチンで防ぐことができるものは防ぐ。それでも風邪症状が出たら出来るだけ早く来院する。医師が疑えば直ぐに PCR 検査ができる医療体制は必須である。

次に周りの発生状況をしっかりと見極めることである。1人で運転する車の中でマスクをする必要はないし、畑や山の中でマスクをする必要も無い。しかしスーパーやコンビニエンスストアではマスクの着用と手指の消毒は忘れてはならない。マスクはフィルターであるから一回つけたら捨てるまで表面に触れてはいけない。親しい人であっても、東京その他の感染地域に住んでいるのなら、今は会わないほうが良い。県を超えないほうがよい。感染地域と思われる所とその付近には行ってはならないし、行った人に会ってはならない。

会食や飲み会は控えた方が良い。キャンペーンには今は乗らない方が良い、トラブルのもとである。公衆トイレに入る時は手指の消毒を念入りにした方が良いだろう。公共の乗り物はなるべく避ける。どうしてもという時はマスクは絶対に外さない事だ。常に消毒用アルコールは携帯する。顔を触らない癖をつけた方が良い。目や口、鼻を触る時は必ずアルコール消毒をして触る、触り終わったらまた手指をアルコール消毒する。全てを癖にしてしまえば何も面倒な事は無い。だからといって、一步も外に出ないで家に閉じこもり、テレビの前で恐怖に怯えている高齢者の話を耳にする。新型コロナウイルスには、感染しないと思うが、基礎疾患により寿命は短くなり、寝たきりの状態になる確率が高くなる。

新型コロナウイルスとの共存は気を抜くと、一瞬にして感染させられてしまう。発熱、咽頭痛、咳、倦怠感、呼吸困難感、味覚嗅覚異常、下痢、その他風邪の症状が出たら直ちに仕事を中止にする事。直ぐに来院する事が大切だ。新型コロナウイルスの場合、躊躇している間に家族、職場全員に染してしまうことになる。直ちに PCR 検査を行い適切な処置を行わなくてはならない。何も心配せずに来院していただきたい。いち早く軽症のうちに、周囲に拡大させないように処置をしたいと思う。

どんなに対策をしても誰もが容易に新型コロナウイルスに感染する可能性がある事を理解していただきたい。感染を受けた人は被害者でもある事を理解するべきだ。その上で、感染した者、その家族、もしくは医療従事者に対する差別や偏見を払拭していただきたい。医療従事者がどれほどの思いで、どれほどの危険を冒して、どれほどの自己犠牲の元で医療に携わっているのか、いったい誰のために頑張っているのかをご理解いただきたいと思う。私は新型コロナウイルスと闘うとともに、感染に対する差別と偏見に対しても闘っていく。

**☆お知らせ☆**

**8月13日(木)~16日(日)は夏季休暇とさせていただきます。**  
**次回休日当番日は9月6日(日)です**

**☆お薬手帳提示のお願い☆**

**他医院処方薬との重複チェック、災害時の内服確認のため、来院時は毎回お持ちください。**